

平成 25 年 7 月 3 日

各 位

会 社 名 サントリー食品インターナショナル株式会社
代表者名 代表取締役社長 鳥 井 信 宏
(コード番号：2587 東証一部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
市 本 徹 雄
(TEL. 03-3275-7022)

東京証券取引所市場第一部上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

記

当社は、本日、平成 25 年 7 月 3 日に東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、平成 25 年 12 月期（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）における当社の連結業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円・%)

項 目	平成25年12月期 (予想)			平成24年12月期 (実績)		平成25年12月期 第1四半期 (実績)			平成24年12月期 第1四半期 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比	前年比		構成比
売上高	1,130,000	100.0	113.9	992,160	100.0	220,116	100.0	106.5	206,671	100.0
営業利益	75,000	6.6	128.3	58,446	5.9	9,288	4.2	155.4	5,975	2.9
経常利益	69,000	6.1	127.7	54,033	5.4	8,454	3.8	175.1	4,829	2.3
当期(四半期)純利益	35,000	3.1	149.7	23,385	2.4	2,852	1.3	619.2	460	0.2
のれん償却前 当期(四半期)純利益	59,000	5.2	137.0	43,050	4.3	8,417	3.8	152.5	5,519	2.7
EBITDA	142,000	12.6	123.8	114,682	11.6	24,784	11.3	126.5	19,594	9.5
1株当たり 当期(四半期)純利益	133円27銭			54,132円90銭 (108円27銭)		6,602円80銭 (13円21銭)			1,066円41銭 (2円13銭)	
1株当たりのれん償却前 当期(四半期)純利益	224円65銭			99,655円01銭 (199円31銭)		19,484円03銭 (38円97銭)			12,777円41銭 (25円55銭)	
1株当たり配当金	(※)			29,896円50銭 (59円79銭)		—			—	

(※) 当社は、平成 25 年 12 月期（予想）において配当を予定しておりますが、具体的な配当につきましては現時点で未定です。当社の配当政策は、のれん償却前当期純利益に対する連結配当性向 30%以上を目安にしています。
平成 25 年 12 月期の配当予想額については、決定次第、あらためてお知らせします。

(注) 1. EBITDA は営業利益に、減価償却費及びのれん償却費を加えた数値です。
のれん償却前当期(四半期)純利益は、当期(四半期)純利益にのれん償却費を加えた数値です。
なお、のれん償却前当期(四半期)純利益および1株当たりのれん償却前当期(四半期)純利益は、金融商品取引法第 193 条の 2 第 1 項の規定に基づく監査（四半期レビュー）は受けておりません。

2. 海外グループ会社の業績の円換算は、1米ドル=95円、1ユーロ=123円を用いています。
なお、平成24年12月期（実績）の円換算は、1米ドル=80円、1ユーロ=103円です。
3. 平成24年12月期第1四半期（実績）、平成24年12月期（実績）及び平成25年12月期第1四半期（実績）の1株当たり当期（四半期）純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
平成25年12月期（予想）の1株当たり当期純利益は公募株式数（93,000,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。
4. 平成25年4月16日付で株式1株につき500株の株式分割を行い、発行済株式総数が216,000,000株となりましたが、平成24年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり数値を（ ）内に記載しております。
5. 平成24年12月期第1四半期（実績）は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく四半期レビューは受けておりません。

以上



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月3日

上場会社名 サントリー食品インターナショナル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2587 URL <http://www.suntory.co.jp/sbf/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥井 信宏
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 市本 徹雄 TEL 03-3275-7022
 四半期報告書提出予定日 四半期報告書の提出予定はありません。 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	220,116	6.5	9,288	55.4	8,454	75.1	2,852	519.2
24年12月期第1四半期	206,671	—	5,975	—	4,829	—	460	—

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 23,060百万円 (7.4%) 24年12月期第1四半期 21,468百万円 (—%)

(参考) EBITDA 25年12月期第1四半期 247億円 (26.5%) 24年12月期第1四半期 195億円

指標の定義、計算方法等の詳細は、「セグメント情報等」8ページをご覧ください。

のれん償却前四半期純利益 25年12月期第1四半期 84億円 (52.5%) 24年12月期第1四半期 55億円

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	13.21	—
24年12月期第1四半期	2.13	2.12

(注) 当社は、平成25年4月16日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っています。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	885,719	214,617	22.5
24年12月期	844,450	204,275	22.5

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 199,181百万円 24年12月期 190,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	—	—	29,896.50	29,896.50
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期（予想）	—	—	—	—	—

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前年増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,130,000	13.9	75,000	28.3	69,000	27.7	35,000	49.7	133.27

(参考) EBITDA 25年12月期通期（予想） 1,420億円 (23.8%)

のれん償却前当期純利益 25年12月期通期（予想） 590億円 (37.0%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年12月期 1 Q	432,000株	24年12月期	432,000株
② 期末自己株式数	25年12月期 1 Q	一株	24年12月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年12月期 1 Q	432,000株	24年12月期 1 Q	432,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の作成日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年3月31日）における世界経済は、欧州債務危機等による景気の下振れリスクの懸念があるものの、緩やかな持ち直し傾向が継続し、底入れの兆しが出てきました。わが国経済についても、一部に弱さが残るものの、新政権への期待や円安傾向を背景とした輸出関連企業の業績改善等による、株価上昇や個人消費の持ち直しが見られる等、次第に景気回復の兆しを感じられつつあります。

このような状況の中、当社グループは事業のより一層の拡大を目指すとともに収益性向上に向けた施策を進めました。国内セグメントでは主に重点ブランドの強化により、事業展開の更なる拡大に取り組みました。国際セグメントでは各国でのコアブランドの育成やグループシナジーの強化等に取り組みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,201億円（前年同期比106.5%）、営業利益は92億円（前年同期比155.4%）、経常利益は84億円（前年同期比175.1%）、四半期純利益は28億円（前年同期比619.2%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[国内セグメント]

国内セグメントでは、重点ブランドの強化を主軸に、消費者の嗜好変化に対応するための新商品の発売やリニューアルを実施し、需要の拡大を図りました。

「BOSS」は、主力5商品（「贅沢微糖」「レインボーマウンテンブレンド」「無糖ブラック」「カフェオレ」「超」）を中心に販売強化を図りました。

「伊右衛門」ブランドでは、水出しの「石臼挽き抹茶」を使用した「贅沢冷茶」を新発売し、コク・深みが特長の「伊右衛門」との2本柱でマーケティング活動を展開し、販売数量が増加しました。

「サントリーウーロン茶」は、原点に立ち返り“健康食中茶”としての特長を強化するため、ウーロン茶ポリフェノールを従来よりも20%増量しました。より一層深みのある濃い味わいを実現し、売上も好調に推移しています。

「サントリー天然水」は、“環境負荷低減”と“使いやすさ”を両立した国産最軽量（※）となる29.8gの2Lペットボトルを採用する等、同商品の価値を一層高めました。

※2013年3月31日現在

「PEPSI」は、主力商品のゼロカロリーコーラ「ペプシネックス」と、昨年11月に発売した特定保健用食品「ペプシ スペシャル」を中心に、販売数量が伸長しました。

果汁入り炭酸飲料「オレンジーナ」、機能性飲料「GREEN DA・KA・RA」等、昨年発売した商品も販売増に寄与しました。

また、製造コストの更なる低減を図るため、サプライチェーンマネジメントの推進を強化しました。

なお、自動販売機事業において、同事業を担う子会社6社の経営統合を行い「サントリービバレッジサービス(株)」として本年4月から事業を開始しました。

以上の結果、国内セグメントの売上高は増収、営業利益は製造コストの低減等により増益となりました。

国内セグメント売上高 1,418億円（前年同期比101.1%）

国内セグメント営業利益 63億円（前年同期比175.3%）

[国際セグメント]

国際セグメントでは、欧州、オセアニア、アジア、米州において、競合激化や依然として厳しい経済情勢等の影響を受けながらも、各国でのコアブランドの強化等に取り組みました。

欧州では、オレンジーナ・シュウェップス・グループにおいて、フランス市場を中心に主力商品の店頭露出の強化等の活動の結果、「Schweppes」等のブランドが好調に推移し、売上増に寄与しました。

オセアニアでは、フルコア・グループにおいて、主力商品のエナジードリンク「V」の強化に加え、昨年6月にニュージーランドでの販売を開始した「GATORADE」が貢献し、売上が大きく伸長しました。

アジアでは、セレボス・グループがタイにおける健康食品販売を中心に好調な業績を挙げています。サントリーガルーダ・グループでは、昨年9月に発売したサントリーブランドの緑茶飲料「みらい」が売上増に寄与しました。また、ベトナムにおいては、本年4月にPepsiCo, Inc. との合弁会社において飲料事業を開始しています。

米州では、ペプシ・ボトリング・ベンチャーズ・グループの業績が、順調に推移しました。

また、国内事業で培った研究開発技術やサプライチェーンマネジメントのノウハウを海外へ展開する等、グループシナジーの強化に取り組みました。

以上の結果、国際セグメントの売上高及び営業利益は、各エリアでの積極的なマーケティング活動により、次のとおり、前年同期を上回る結果となりました。

国際セグメント売上高 782億円（前年同期比118.0%）

国際セグメント営業利益 85億円（前年同期比114.9%）

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金等が減少したものの、商品及び製品、原材料及び貯蔵品、有形固定資産等の増加により、前連結会計年度末に比べ412億円増加して8,857億円となりました。

負債は、未払法人税等、電子記録債務等が減少したものの、有利子負債等の増加により、前連結会計年度末に比べ309億円増加して6,711億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ103億円増加して2,146億円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、平成25年12月期において重点ブランドの強化、消費者のニーズを的確、迅速に捉え、新規需要の創造を図っていくとともに、サプライチェーンマネジメントの推進によるコスト低減を積極的に推し進め、事業規模の拡大、収益性の向上に取り組みます。

国内事業においては、昨年10月にリニューアルした「伊右衛門」等のブランドが好調で、引き続き、「BOSS」「伊右衛門」及び「オレンジーナ」「GREEN DA・KA・RA」等の重点ブランドの拡販とともに、サプライチェーンマネジメントを推進していきます。

国際事業においては、主要各社で経営改革を進めるとともに、国内事業で培ったR&D技術のノウハウを海外へ展開することで、国内外のグループシナジー創出による事業拡大を見込んでいます。また、インドネシアで昨年発売を開始した緑茶飲料「みらい」、オセアニアの「V」等が好調に推移するなど、引き続きコアブランドの強化を図ります。

こうした取り組みに加え、円安による為替換算の影響もあり、平成25年12月期は、売上高11,300億円（前年同期比113.9%）、営業利益750億円（前年同期比128.3%）、経常利益690億円（前年同期比127.7%）、当期純利益350億円（前年同期比149.7%）を予想しています。

なお、業績予想の前提とした主な為替レートは、123円/ユーロ、95円/ドルです。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,069	33,235
受取手形及び売掛金	114,470	112,416
商品及び製品	27,731	35,177
仕掛品	2,402	2,810
原材料及び貯蔵品	14,621	16,827
その他	33,988	37,954
貸倒引当金	△389	△389
流動資産合計	218,895	238,033
固定資産		
有形固定資産	235,338	245,097
無形固定資産		
のれん	349,929	359,678
その他	10,205	11,143
無形固定資産合計	360,135	370,822
投資その他の資産		
投資有価証券	15,781	16,712
その他	14,996	15,753
貸倒引当金	△797	△778
投資その他の資産合計	29,981	31,687
固定資産合計	625,455	647,608
繰延資産	99	77
資産合計	844,450	885,719
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	93,465	96,108
電子記録債務	14,663	12,575
短期借入金	311,214	198,145
未払法人税等	5,103	4,412
賞与引当金	1,828	2,972
その他	110,910	121,997
流動負債合計	537,186	436,212
固定負債		
長期借入金	30,483	159,403
退職給付引当金	6,815	7,021
役員退職慰労引当金	32	29
その他	65,658	68,434
固定負債合計	102,988	234,889
負債合計	640,174	671,101

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	54,395	54,395
利益剰余金	122,609	112,753
株主資本合計	207,004	197,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	429	720
繰延ヘッジ損益	435	1,339
為替換算調整勘定	△17,521	△27
その他の包括利益累計額合計	△16,656	2,032
少数株主持分	13,927	15,436
純資産合計	204,275	214,617
負債純資産合計	844,450	885,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	206,671	220,116
売上原価	93,387	98,190
売上総利益	113,284	121,925
販売費及び一般管理費	107,308	112,636
営業利益	5,975	9,288
営業外収益		
受取利息	65	75
持分法による投資利益	—	101
その他	279	313
営業外収益合計	345	490
営業外費用		
支払利息	1,318	1,257
その他	173	66
営業外費用合計	1,491	1,324
経常利益	4,829	8,454
特別利益		
受取保険金	—	1,053
受取補償金	260	—
その他	58	7
特別利益合計	318	1,061
特別損失		
固定資産廃棄損	654	592
組織再編関連費用	110	1,138
その他	43	53
特別損失合計	808	1,784
税金等調整前四半期純利益	4,340	7,731
法人税、住民税及び事業税	2,837	3,306
法人税等調整額	338	1,081
法人税等合計	3,176	4,387
少数株主損益調整前四半期純利益	1,163	3,343
少数株主利益	703	491
四半期純利益	460	2,852

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,163	3,343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70	290
繰延ヘッジ損益	26	904
為替換算調整勘定	19,875	18,042
持分法適用会社に対する持分相当額	331	479
その他の包括利益合計	20,304	19,716
四半期包括利益	21,468	23,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,129	21,541
少数株主に係る四半期包括利益	1,338	1,519

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	国際 (注) 4			
売上高					
外部顧客への売上高	140,382	66,289	206,671	—	206,671
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	125	125	△125	—
計	140,382	66,414	206,797	△125	206,671
セグメント利益 (注) 3	3,604	7,429	11,034	△5,059	5,975

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない、のれん償却額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 報告セグメントごとのEBITDAは次のとおりです。

(単位:百万円)

	国内	国際	合計
セグメント利益	3,604	7,429	11,034
減価償却費	6,496	2,063	8,559
EBITDA	10,101	9,493	19,594

EBITDAは、セグメント利益に減価償却費を加えた数値です。

4. 国際セグメント売上高、利益又は損失、EBITDAの内訳

国際セグメントを、現地法人グループの親会社の所在地別に分類した内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

	欧州	オセアニア	アジア	米州	国際計
売上高					
外部顧客への売上高	25,823	8,152	18,313	13,999	66,289
セグメント間の内部売上高 又は振替高	125	—	—	—	125
計	25,949	8,152	18,313	13,999	66,414
セグメント利益	3,006	1,244	1,959	1,218	7,429
減価償却費	817	241	425	578	2,063
EBITDA	3,824	1,486	2,385	1,797	9,493

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成25年1月1日至平成25年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	国際 (注) 4			
売上高					
外部顧客への売上高	141,884	78,231	220,116	—	220,116
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	152	152	△152	—
計	141,884	78,383	220,268	△152	220,116
セグメント利益 (注) 3	6,319	8,533	14,853	△5,564	9,288

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない、のれん償却額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 報告セグメントごとのEBITDAは次のとおりです。

(単位：百万円)

	国内	国際	合計
セグメント利益	6,319	8,533	14,853
減価償却費	7,309	2,622	9,931
EBITDA	13,628	11,155	24,784

EBITDAは、セグメント利益に減価償却費を加えた数値です。

4. 国際セグメント売上高、利益又は損失、EBITDAの内訳

国際セグメントを、現地法人グループの親会社の所在地別に分類した内訳は次のとおりです。

(単位：百万円)

	欧州	オセアニア	アジア	米州	国際計
売上高					
外部顧客への売上高	29,728	10,163	22,366	15,972	78,231
セグメント間の内部売上高 又は振替高	152	—	—	—	152
計	29,881	10,163	22,366	15,972	78,383
セグメント利益	3,568	1,304	2,341	1,318	8,533
減価償却費	967	301	670	683	2,622
EBITDA	4,535	1,605	3,012	2,001	11,155

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。